

営農的な土壌流亡（流出）対策

- 資材や植生による畑面被覆
- 作物の栽培改善による裸地期間の短縮
- 減耕起
- 土壌団粒化促進
- 下層土の排水改善による表面流去水・土壌の減量

スライド4

流亡という失った・もったいないという意味も込めて土壌流亡という表現にしています。

営農的な土壌流亡対策としては、畑面被覆、栽培改善による裸地期間の短縮、減耕起、土壌団粒化促進、下層土の排水改善などがあります。

発生を抑える



さとうきび葉殻のマルチ



緑肥作物栽培（ピジョンピー）

農家による個々の農地での、耕作畑面管理時に行う営農対策は速効性があり効果的



パインアップル畑でのビニール及び稲藁マルチ

スライド5

発生を抑える方法として、さとうきび葉殻のマルチ、緑肥、ビニールマルチおよび稲藁マルチなどがあります。

緑肥による畑面被覆



スライド6

緑肥による畑面被覆の例です。

地力増強も兼ねた

緑肥のすすめ

1. 畑に鍬込むことにより地力アップが可能
2. 豆科緑肥は窒素の供給が大きい
3. イネ科緑肥は腐植の増加が大きい
4. 雑草抑制（すべての緑肥）
5. カバークロップとして土壌侵食防止対策に有効
6. 連作障害の回避（前後作と違う科の緑肥を選ぶ）
7. 農村の景観向上（ヒマワリ等）
8. ハウスの塩類集積防止（ソルゴー等、持ち出し）
9. 堆肥供給の少ない地域では特に有効な地力対策

スライド7

緑肥を進める理由として、地力増強も兼ねたということがあるからです。
具体的には、資料中の9つが挙げられます。